

## エコ・プロジェクト

# 汚泥処理剤を全国展開

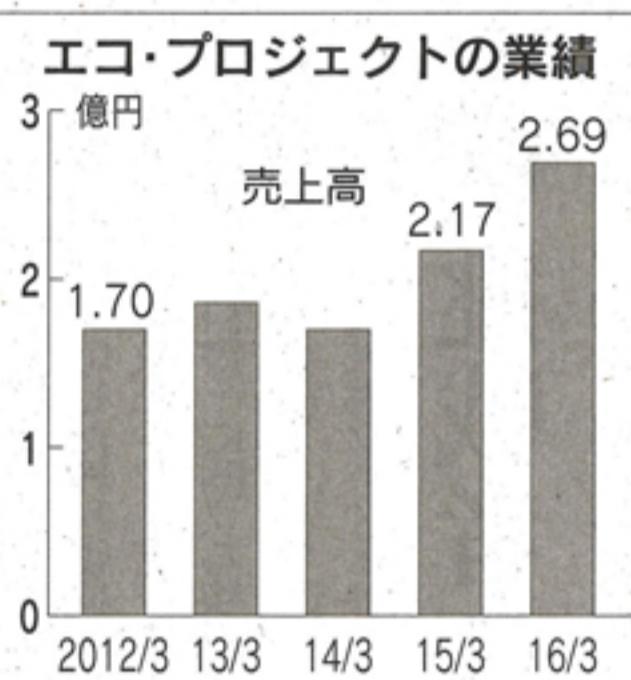
生コン工場向け 生産能力5割増

汚泥処理剤の開発・製造を手掛けるエコ・プロジェクト(新発田市、高橋正男社長)は汚泥を無害な土に変える処理剤「泥ん固AC-096」を全国で本格販売する。この処理剤を使えば生コン工場の汚泥の処理費が大幅に安くなるため、売り上げが大幅に伸びている。受注増を見据え、本社工場や委託生産を含めた処理剤全体の生産能力を3年以内に5割高める。



「泥ん固」の需要は今後高まる見込みだ

エコ・プロジェクトは生コン工場から排出される汚泥を高機能処理土に変える処理剤「泥ん固AC-096」を約5年前に開発し、2015年から販売を始めた。処理で発生した土は防草剤や土壤改良剤のほか、下水道で硫化水素の吸着剤などとして活用できる。



## 東京五輪見据える

同社の試算によると、生コンの汚泥1立方あたりの処理費用は、産業廃棄物として処理した場合には約2万円かかるが、「泥ん固」を使えば7000円程度に抑えることができる。さらに処理土を防草剤などとして販売できる利点もある。

泥ん固の月間出荷量は



同社は今後、本社工場の生産体制を強化する  
(1日、新発田市)

## トップカルチャーアイテム7%増益

「蔦屋書店」をフランチャイズ店として展開するトップカルチャーが8月~16年7月期の連結決算は、純利益が前年同期比7%増の2億2900万円だった。主力の書籍の販売が伸びたものの、補えなかつた。

11~7月純利益 販管費など減

が減ったほか、税負担が減少したのも寄与した。売上高は4%減の243億円。CDやDVDの大判タイトルがなかった影響で大幅に減少した。大型タイトルがなかった影響で大幅に減少した。売上高の半分ほどを占める書籍は1%増えたものの、補えなかつた。

16年10月期通期の連結

年度 高付加価値化サポート助成事業 わざづくり

2015年11月発表した2015年11月~16年7月期の連結決算は、純利益が前年同期比7%増の2億2900万円だった。主力の書籍の販売が伸びた。人員配置の効率化などで販管費

が52%にとどまる。それでも業績予想を据え置いた理由について、遠海武則取締役は「売り場の改革を進め、期末に向けたセールも実施して顧客を呼び込む」と話す。

現在30トン程度だが、受注の伸びから1年後には100トン程度まで増える見通し。生コン業者からの受注が拡大しており、同社は「全国で商機がある」と判断。これまでには新潟県で販売していたが、関東や九州に販路を持つ商社と業務提携を進める。

受注の増加に備え、生産体制も強化する。粒子の吸着力を測定する装置を、10月をめどに約350万円かけて導入。研究開発にも700万円を投じて生コンの出荷量が増えることも想され、泥ん固の需要も高まる見込みだ。高橋社長は「今後ます環境に負荷をかけないで処理したいと考える。泥ん固を含めた処理剤全体の生産能力を、現在の月10000トンから3年後に月15000トンに高める。

20年の東京五輪に向け開発にも700万円を投じて生コンの出荷量が増えることが想され、泥ん固の需要も高まる見込みだ。高橋社長は「今後ます環境に負荷をかけないで処理したいと考える。泥ん固を含めた処理剤全体の生産能力を、現在の月10000トンから3年後に月15000トンに高める。

じ、工場の改修も進める。り枠」に認定され、約600万円の補助金が支給される見通し。日本政策金融公庫新潟支店からも3000万円を借り入れ、設備投資や研究開発に充てる予定だ。

エコ・プロジェクトは20年に設立し、16年3月期の売上高は前の期比24%増の2億6900万円だった。泥ん固を中心とした事業拡大で、3年後

中古品取り扱い販売の  
楽器・音響機器の専門店

## ハードオフ、東京出店

県外初

才を設ける。年間の売上高目標は約1億7000万円。

吉祥寺の近隣では古着を扱う「モードオフ」や酒の「リカーオフ」を開いており、山本善政会長

ハードオフコーポレーションは16日に、楽器を専門に扱う店舗と音響機器専門店を東京・吉祥寺に

同業態の店舗を出店する

のは初となる。店内では音響機器などに詳しいシニアの店員が顧客の質問

に答える。専門性を

高め、店舗にミニ

スタジオ

、3階には

付け、店舗にミニ

スタジオ

音楽機器の修理も受け

向上升や相乗効果を期待し

たい」と話す。

## 建設現場 AI 活用支援

つなげる。

県は建設現場の調査を

実施する委託事業者とし

て分析などを通じて、AI

やIoTを活用できる技術

を調べる。県は同社の

## 銅製スプーン+杉トレー

シンドーが生活雑貨



木材部分は越後杉を使つた。

スプーンはステンレスといつて手の熱がスプーンの

トレーはアイスクリームのカッピングを収めるくぼみを設けた。

自社ウェブサイトのほか、セレクトショップなどで販売する。来年以降は製品を合計10種類程度まで増やしていく考えだ。

ドローン使い通学見守り